

IBM UrbanCode Deployと IBM Cloud Privateでマルチクラウド・ソフトウェアのリリースを加速

開発、テスト、本番環境で継続的にソフトウェアを展開



ハイライト

- デプロイの自動化で市場へ投入するまでの時間を短縮
- テストから本番環境まで、そしてパブリックとプライベート・クラウド環境の一貫性を推進
- 複雑なプロセスを自動化してリスクを削減
- アプリケーション品質と安定性の改善を高頻度のリリースで促進
- 率向上とシステムダウンの減少でコストを削減

はじめに

多くの組織はクラウドを新たな収入源としたり、新ビジネス・モデルを構築するために活用しています。組織のクラウド活用が進む一方で、アプリケーションの迅速なリリースと更新を可能とするクラウド独自の利点を活用しながら、コアとなるデータとワークロードを自社で管理できるプライベート・クラウドへ向かう組織も出てきます。

IBMのプライベート・クラウド・ソリューションである

IBM® Cloud Private は企業に向けて、プライベート、パブリック・クラウドにまたがってワークロードを実行できる柔軟性と新たなレベルの選択肢を提供します。開発者が様々な言語、フレームワーク、ランタイム、サービスを選んでクラウドネイティブ・アプリケーションとマイクロサービスを構築できるので、企業のデジタル変革を推進します。既存のサービスだけでなく、機械学習やコグニティブ機能などの新しいサービスに基づいた変革を可能にします。

パブリック、プライベート・クラウド、さらには仮想環境やメインフレームにまたがるデプロイをスムーズに実現するために、IBM Cloud PrivateにアドオンされたIBM UrbanCode® Deployが、コンテナ、アプリケーション、ミドルウェア、データベースのデプロイを自動化し、開発、テスト、本番環境への反映を支援します。

オンプレミスおよびクラウド内のあらゆるものを接続します

IBM Cloud Privateは、既存のIT資産、専門知識、ビジネス・プロセスの活用を実現します。さらに、変革を推進し、業務要求を満たす機動力の高いIT消費モデルを実現します。企業は、コンテナ、Kubernetes、Cloud Foundryを基盤として、アプリケーション開発者の生産性を高め、チームを独立させてスピードと機敏性を高め、戦略的な基礎としてコンテナ・テクノロジーの採用を加速することができます。



IBMクラウド

ソリューション概要

組み込みダッシュボード、自動化、分析機能によって複数のクラウドのアプリケーションとサービスの管理に柔軟性と選択肢を提供します。APIとデータの接続、イベントの監視、ロギング、管理などの主要機能を実行するために必要なサービスを追加し、迅速で高品質なコードの開発とビジネス価値の向上を目指す基盤を構築します。

企業が新しいテクノロジーを利用できるようにするためにプライベート・クラウドのパワーを活用できるためのサポートと、新しいクラウド・アプリケーション開発とデプロイするための DevOps モデルのそれぞれ異なった長所を単一プラットフォームで対応します。

マルチクラウド・トポロジーに対するデプロイを高速化

多くの組織はすでにマルチクラウド・トポロジーになっています。これにより、時間がかかり、エラーの多い手作業によるコードのデプロイを強いられています。しかし、複数のデータ・センターやクラウドを対象とした場合、スクリプト化されたデプロイでさえもリスクが高く、追跡が困難で、維持費も高くなります。結果として、マルチクラウド・トポロジーにおいてはデプロイの自動化が必要です。

IBM Cloud Privateの一部であるJenkinsは、コンテナ化して分離されたマイクロサービスのデプロイに利用できます。もっと複雑なアプリケーションでは、結合されたサービスの管理や、仮想マシンへのコンテナ配置、パブリックやプライベート・クラウド両方へのデプロイを行っており、包括的な自動デプロイ・ソリューションが必要になります。

自動デプロイ・ソリューション市場をリードする

IBM UrbanCode Deployは、数千台のサーバーにデプロイできる能力を持っており、企業利用に対応しています。これはDevOpsの継続的デリバリー・ソリューションの中核要素で、リリースを予測可能にして、コンセプト、ロールアウトとフィードバックの間の時間を短縮し、市場投入を加速させます。

UrbanCode Deployは幅広い対象の デプロイメントをサポートします:

ターゲット・プラットフォーム	UrbanCode Deploy機能
Kubernetes	<ul style="list-style-type: none">• KubernetesのYAMLファイルの自動構成とHelmチャートのデプロイを含むフル・サポート• パブリックのコンテナ・サービスへのデプロイもサポート
Cloud Foundry	<ul style="list-style-type: none">• パブリックIBM Cloudソリューション、その他のクラウド・ベンダー・ソリューションへのデプロイをサポート
仮想マシン	<ul style="list-style-type: none">• 仮想マシンで動作するさまざまなミドルウェア・ソリューションをそのまま利用できるプラグインを添付• メインフレームを含む従来のインフラストラクチャーにこの機能を拡張• IBM Cloud Automation Manager IBM Cloudとの統合で、新しくプロビジョニングされる環境を迅速にデプロイ可能

デプロイを迅速かつスマートに

IBM UrbanCode Deployは複数の機能を提供して、マルチクラウド環境でのソフトウェア・デプロイを効率的に加速します。

可視性とアプリケーション・バージョンニング

IBM UrbanCode Deploy内のインベントリ機能によって常に「何がどこにあるか」が正確に把握できます。インベントリは、プラットフォームに依存せずに動作するコンポーネント群のスナップショットを作成する機能とともに、アプリケーション・スナップショットによるモデルベースのデプロイを可能にします。

IBMクラウド

ソリューション概要

オーケストレーション

オーケストレーションはアプリケーションを構成する複数コンポーネントをデプロイする方法を定義します。コンポーネント間の依存関係を明瞭にできるので、デプロイの順序も制御できます。たとえば、Kubernetesがマイクロサービスを更新する処理を適用する前に、従来のデータベース・スキーマを更新することができます。オーケストレーションによって、アプリケーション・デプロイをロード・バランサーなどのインフラストラクチャー部品と統合できます。

環境

それぞれのアプリケーションにはデプロイ先ごとに定義可能な環境というモデルが含まれています。環境はひとつまたは複数のデプロイ先となる情報が含まれます。UrbanCode Deployはそれぞれの環境向けに異なる構成設定を持つことができます。

ガバナンス

UrbanCode Deployによって粒度の細かい、カスタマイズ可能なユーザー認証システムが提供されるので、デプロイメント成果物を安全に転送できます。承認および品質ゲートによって、ポリシーを遵守した環境を通して、アプリケーションをプロモートできます。柔軟な通知スキーム、テンプレート、レポート・オプションによってチームが必要としているレベルに対応したワークフローを作成できます。

IBM Cloud Privateを選ぶ理由

データが豊富な世界で、様々な問題解決やビジネス機会創出を支援するために生まれた IBM Cloud Privateが提供できるのは:

ビジネス変革

- 簡単にビルド&デプロイ、管理するための、ダイナミックなスケーラビリティと変化する要求の管理を行える新しいマイクロサービス・ベースのアプリケーション
- コード・リポジトリ、デプロイ、テスト自動化、本番への移行までに向けて新たに統合されたIBMとオープン・ソースのDevOpsツールとサービス
- IBM Public Cloudへのシームレスな統合 - 安全なアクセスを提供し、コグニティブ/AI、ブロックチェーン、IoTなどの革新的テクノロジーと統合できるようにデザイン

統合

- プラットフォームやその他のサービスに対してアクセスが容易なため、開発者はクラウド環境の中を、そして複数のクラウド環境を容易に統合できます
- サービス・カタログと統合ツールでオンプレミス/オフプレミスの開発者を支援

コンプライアンスと管理の強化

- どんな規模でもマイクロサービスをモニターし、セキュアに保護、運用できるよう設計された機能
- 法令と業界標準に従ったセキュリティー機能が充実している企業データとコンプライアンス管理
- データとアプリケーションの管理、バックアップ、リカバリー

投資の保護

- 次世代クラウド対応ソフトウェアを利用して、リスクのあるアプリケーション変更の維持ないしは遅らせる機能
- 従来の手法で開発した既存アプリケーションをモダライズしながら、新しいアプリケーションと統合する機能
- 開発者や運用チームが確信を持ってアプリケーションを新バージョンやクラウドに移行できるソフトウェア、サービスのカタログ

試してみる準備はできていますか?

無料 IBM Cloud Private コミュニティー・エディション Community Editionをインストールしてください
www.ibm.com/marketing/iwm/dre/signup?source=urx-19310&S_PKG=ov60811

詳細情報

IBM UrbanCode Deployの詳細については、日本 IBM の営業担当または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

ibm.com/jp-ja/marketplace/application-release-automation



© Copyright IBM Corporation 2017

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in the United States of America
November 2017

IBM、IBM ロゴ、ibm.comおよび UrbanCodeは、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

本資料の情報は最初の発行日の時点で最新であり、予告なしに変更される場合があります。すべてのサービスが IBM の操業国すべてにおいて提供されるとは限りません。

IBM の将来の方向性および指針に関する記述は、予告なく変更または撤回する場合があります。これらは目標および目的を提示するためにのみ使用しています。

IBM 製品とプログラムと他社製品、プログラムとの併用運用またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

本資料の情報は「現状のまま」で提供され、明示的にも黙示的にも、商品性の保証、特定目的への適合性の明示的保証、違反行為がないことを含む、いかなる保証を行うものでもありません。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

お客様は、法律ならびに該当する規制を順守する責任を負います。IBM は法的助言をすることはなく、IBM のサービスまたは製品によって、お客様が法律または規制を確実に順守できることを表明し保証するものではありません。

グッド・セキュリティー・プラクティス宣言:ITシステム・セキュリティーには企業内外からの不適切なアクセスの防止、検出、対応によるシステムと情報の保護が関連しています。不適切なアクセスは情報の変更、廃棄、不適切、誤用につながり、他社への攻撃などシステムの損傷、誤用が起きる可能性があります。完全なセキュリティーが守られているITシステム、製品があると考えてはいけませんし、不適切な利用、アクセスを完全に防げる単一の製品、サービス、手段もありません。IBMのシステム、製品、サービスは適法な、包括的セキュリティー手段の一部となるよう設計されていますが、これには追加の運用手順が必要で、効果を最大限に上げるためには他のシステム、製品、サービスが必要になることがあります。IBMはシステム、製品、サービスが他者の悪意ある行為、ないしは不法行為から損害を受けないことを保証いたしませんし、貴社が損害を受けないことも保証いたしません。



Please Recycle
